

わたしのほくろ

小 三

わたしのうでは、ほくろがありません。親指のつめぐらいの大きさです。ほいく園のときはほくろが気にならなかったけれど、小学校に行ってからはいやになりました。なぜかと言うと、友だちにほくろをわらわれたからです。

一年生のとき、朝、学校に行くと、AさんとBさんに、

「見せて見せて。」
と言われてわらわれました。

わたしは、
「いやだ。」

と言って、ほくろを手でかくしました。そのとき、わたしはすごくいやな気持ち

ちでした。だから、そのときからずっと、ほくろをかくすためにばんそうこうをしていました。ばんそうこうをはがしてしまおうと、またわらわれてしまいかもしれないと、ずっと思っていました。

でも、わたしは先生から、「見た目がちがっても、みんな同じ人間。」

と言われて、心の中で「もうばんそうこうをはがしてもいい。」と思いました。そして、その日のうちにばんそうこうをはがしました。先生の一言で、わたしの気持ちは大きくかわりました。二年間、毎日ばんそうこうでほくろをかくしつづけていたけれど、はがしてすっきりしました。同じクラスのなか

のよい友だちに、ほくろがあることを
つたえてみたら、

「そんなの気にならないよ。」

と言ってくれました。まだ気にしてし
まうときもあるけれど、どうどうとす
ごそうと思います。

わたしは友だちにいやなことをしな
いで、やさしくしていきたくです。見
た目がちがってもみんな同じ友だちだ
から、みんなとなかよく、だれにでも
やさしくしていきたくです。